

基本方針具体化に当たっての現状と課題

現状 ～国の旗振り効果と全くの偶然によるスポーツツーリズムの芽生え～

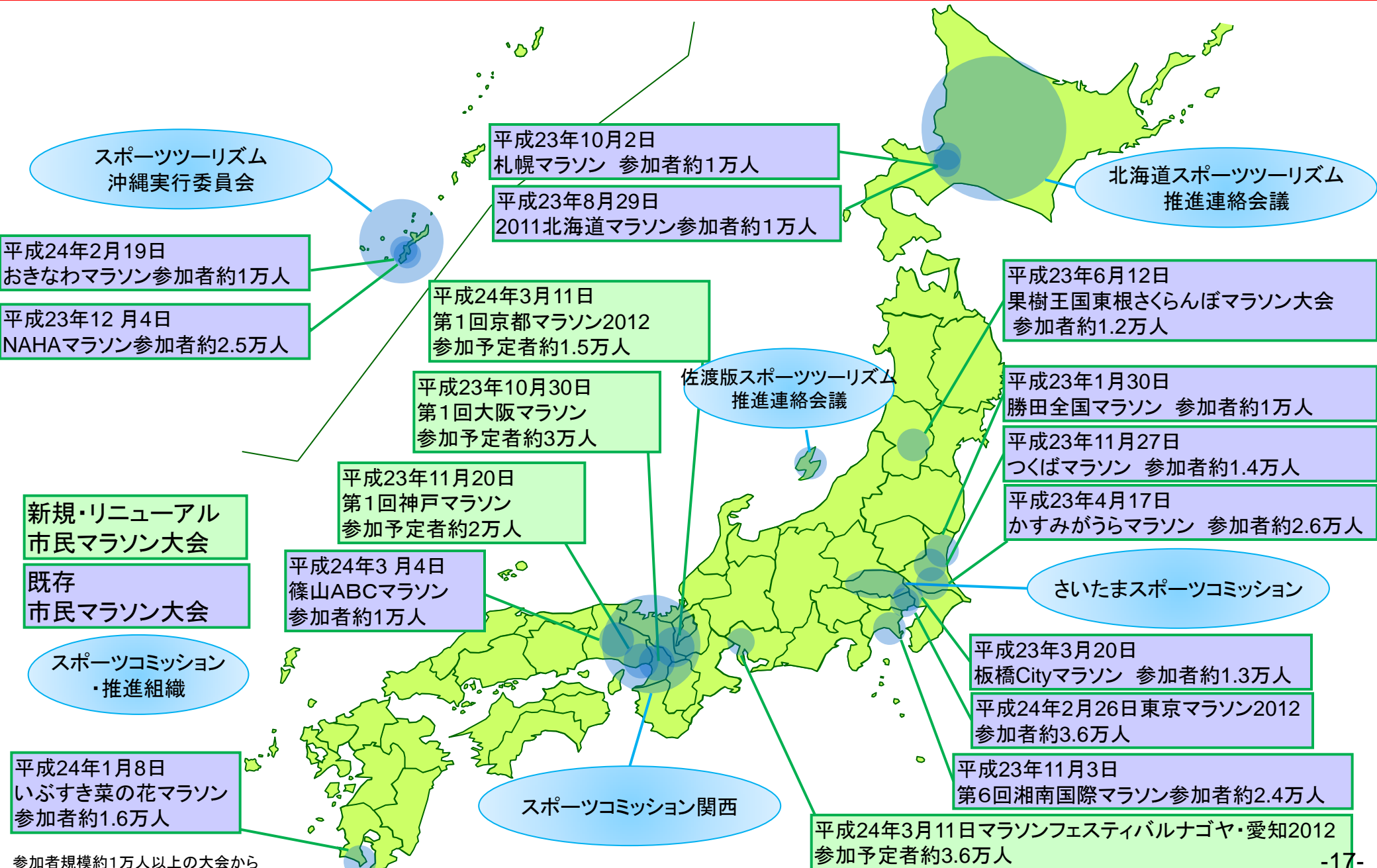
健康・エコ・ファッションで根強いマラソン人気、メガ市民大会増でマラソン人口は一層拡大へ
山ガール・節電(避暑)が牽引する登山、トレッキングブーム、訪日外国人にも大きなニーズ
エコ・健康・通勤使用・二次交通代替・回遊促進でレンタルも充実のサイクリング観光の躍進
なでしこ効果による女子スポーツ(サッカー、野球、ラグビー……)活性化の兆し
スキー発祥100周年を機に危機感と一体感で生まれ変わろうとするスキー場が続々
東南アジアからのスノーリゾート志向、韓国・中国からのスキー・スノーボードは今後も増加傾向
モータースポーツ、公営競技が地元観光とのタイアップに向けて歩み寄り

等

課題 ～いわば課題だらけで伸びしろ無限大～

イベント立ち上げのやる気をそぐ規制や縦割り行政(観光課と教委保健体育課の壁など)
地方・地域での旅行・観光業界とスポーツ団体との連携不足
未だスポーツ情報・サービスに乏しい宿泊先や観光案内所
相変わらず「温泉に美女」や文化遺産・自然景観ばかりの観光パンフ
活かしきれてない、相撲、空手等伝統スポーツ
未だ魅力の乏しい、スタジアム等スポーツ施設、施設周辺のアメニティ、ナイトカルチャア
未だ低い、スポ旅の海外旅行先としての日本認知度
国民的盛り上がりの欠如(旅全体の沈滞、変革できないライフスタイル)

等



参加者規模約1万人以上の大会から

スポーツで海外から多くの人を呼び込もう！

欧米では、旅行にスポーツを取り入れるのは当たり前。相撲・武道への関心は世界共通で高く、パウダースノーのスキー場や南西諸島のダイビングスポットに世界も注目！ ゴルフ、マラソン、トレッキングなども国内外でニーズ無限大！

ニ
ズ
調
査

韓国・台湾・タイ・香港でスキーなどウィンタースポーツの人気の高い。中国でも今後高まる見通し。豪州では夏のアウトドアスポーツも人気。トレッキング、ダイビング、ゴルフの可能性も大。観る系では武道。



海
外
の
状
況

- ◎英国(The British Tourist Authority)
 - ・旅行目的のうち20%がスポーツ参加目的
 - ・休日の過ごし方の50%がスポーツ参加・観戦目的
- ◎カナダ(the 1998 Canadian Travel Survey)
 - ・国内旅行のうち37%がスポーツ参加・観戦目的
- ◎米国(the Travel Industry Association of America)
 - ・50マイル(約80km)以上離れた旅行をする場合、38%がスポーツ参加・観戦目的 (%)

今後の再訪日旅行で したいこと (ターゲット国調査)		プロ スポ ーツ 観 戦	ゴ ル フ	マ ラ ソ ン ・ ラ ン ニ ン グ な ど	ス キ ー ・ ス ノ ー ボ ー ド な ど ウ ィ ン タ ー ス ポ ー ツ	ト レ キ ン グ ・ 登 山 ・ ラ フ テ ィ ン グ な ど ア ウ ト ド ア ス ポ ー ツ	ポ ー ツ ケ リ ン グ な ど マ リ ン ス	ダ イ ビ ン グ ・ シ ュ ノ ー	テ ィ ビ テ ィ	そ の 他 ス ポ ー ツ ア ク
	n									
オーストラリア	258	2.7	3.9	0.8	14.7	8.5	3.9	0.8	0.0	0.8
韓国	381	2.4	3.9	1.0	12.9	8.4	1.8	0.0	0.0	0.0
台湾	395	6.6	4.1	3.8	24.1	12.9	10.6	0.3	0.3	0.3
中国	364	6.6	15.9	17.3	31.9	23.1	19.8	0.5	0.5	0.5

◎ビジット・ジャパン事業を活用した今年度の取組予定

- 「International Golf Travel Market」出展
- 「DEMA SHOW 2011」スキューバダイビングの国際見本市)出展
- ※このほか、スキーなどは地方連携事業で各地で実施見込み。



訪日外国人旅行者向けスポーツ観光CS調査業務

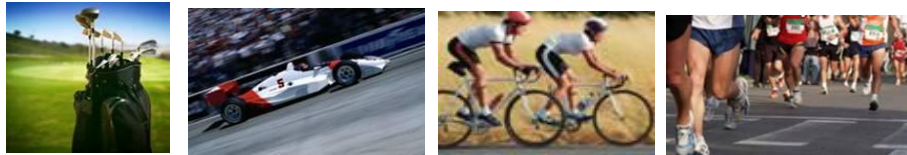
■業務実施目的と内容

スポーツツーリズムをテーマとした外国人旅行者受入環境整備のCS調査を行い、効果検証結果を活用していくことで商品造成を促し、新規需要獲得につなげる。

スポーツツーリズムによる訪日外国人旅行者の交流人口拡大に向けた解決策を見つけ出す

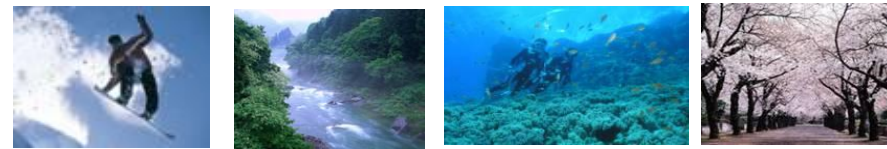
更なるリピーター化

日本が持つ、「みる」「する」「支える」の様々なスポーツ毎の魅力



地方への来訪促進

日本の各地域が持つ、風光明媚な自然環境や、スポーツ資源、インフラ



汎用性のあるモニターツアーを造成しCS(顧客満足度)調査を実施

インバウンド旅行商品造成・外国人受入環境整備により、訪日旅行人口の拡大

新規需要拡大、交流人口の拡大、スポーツツーリズムによる地域振興へ

■実施モニターツアー内容①

ツアータイトル

ジャンル

エリア

人数

モニターツアー①

北海道 ラグビー合宿&
自然満喫視察ツアー
11月～1月の1泊2日

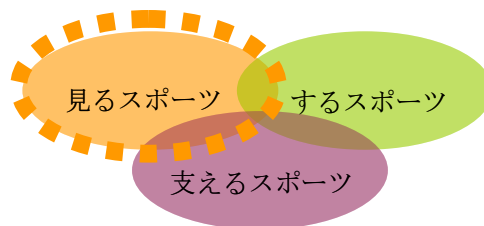


【少人数参加ツアー】

5～10名程度を想定

モニターツアー②

モータースポーツ観戦&
東北観光ツアー
9月24日（土）～25日（日）

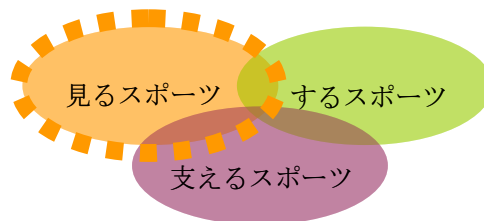


【少人数参加ツアー】

5～10名程度を想定

モニターツアー③

ジェフ千葉観戦とフクダ電子
アリーナスタジアム視察
10月下旬～12月上旬

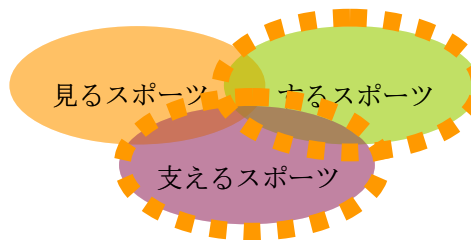


【少人数参加ツアー】

5～10名程度を想定

モニターツアー④

ヤフードーム見学と早良・唐津
歴史街道ウォーキング
10月9日（日）



【大人数参加ツアー】

20～60名を想定

ツアータイトル

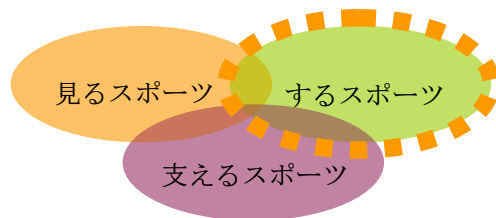
ジャンル

エリア

人数

モニターツアー⑤

長野エリアスキーリゾート
満喫ツアー
1月下旬～2月下旬

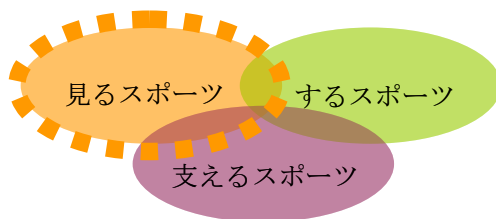


【少人数参加ツアー】

5～10名程度を想定

モニターツアー⑥

大相撲観戦、下町観光ツアー
1月8日（日）～22日（日）

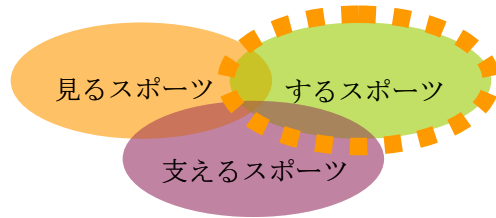


【大人数参加ツアー】

20～60名を想定

モニターツアー⑦

ツール・ド・フクオカ
タウンライド、町並観光ツアー
11月19日（土）～21日（月）

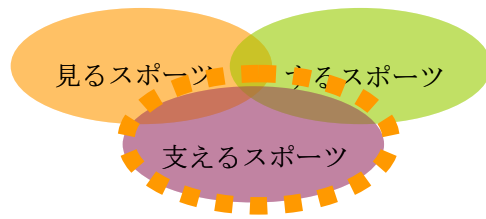


【大人数参加ツアー】

20～60名を想定

モニターツアー⑧

サンポート高松トリアスロン
見学、ボランティア体験ツアー
9月24日（土）



【少人数参加ツアー】

5～10名程度を想定

ツアーの告知

日本国内観光情報ポータルサイト「ジャパニカン」にて、英語、韓国語、繁体字、簡体字の4種類の情報発信サイトを立ち上げ、それぞれのツアー情報発信と募集を行っています。

▼英語版情報サイト

▼韓国語版情報サイト

▼繁体字版情報サイト

▼簡体字版情報サイト

■ツアー実施報告

【サンポート高松トライアスロン見学、ボランティア体験ツアー】

日時:9月24日(土)

参加者:アフリカからの留学生 7名

<内容ダイジェスト>

- ・天候にも恵まれ、トライアスロン観戦とボランティア体験を無事実施出来た。
- ・住民との交流なども行う事で、支えるスポーツでの、新しいスポーツツーリズムの形を検証。
- ・大会後、盆栽体験(こけ玉作り)と、うどんの食事などのツアーを実施し、地域の魅力をも含めた高松の魅力体験し、地域の魅力調査も行った。



■ツアー実施報告

【モータースポーツ観戦&東北観光ツアー】

日時: 9月24日(土)~25日(日)

参加者: 韓国人留学生、社会人 7名

＜内容ダイジェスト＞

- ・韓国人ガイドによる東北観光ツアーが好評。スポーツと観光の融合の可能性を検証した。
- ・フォーミュラニッポン観戦では、韓国語ツールによる受入整備やピット見学などを行い、言語の障壁を最小限にした状態でモータースポーツの魅力を伝えられた。
- ・ツアーの様子はJRPサイトに掲載され、協力関係を構築することが出来た。



■ツアー実施報告

【ヤフードーム見学と早良・唐津歴史街道ウォーキング】

日時: 10月9日(日)

参加者: 中国や欧米を含む外国人 51名

<内容ダイジェスト>

- ・様々な国籍の参加者による調査を行う事で、総合的な外国人視点での日本の都市観光の魅力が調査することが出来た。
- ・プロ野球の練習見学から、ウォーキングによる市内散策、体験、郷土食、観光資源巡りなど様々な視点での調査による満足度を確認することが出来た。



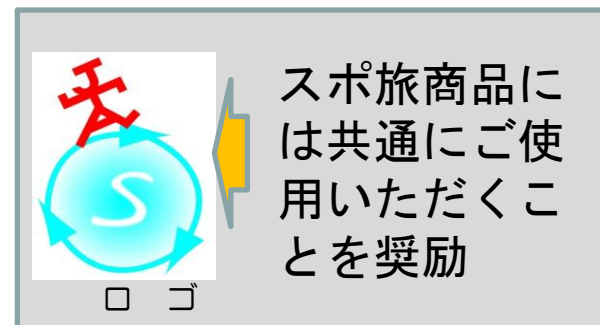
try of Land

「スポ旅」を旅行商品として流行らせよう！

一般には、JTBの店頭パンフや、じゃらん、楽天のネットにツアーとして登場してはじめてニーズが顕在化し、ビジネスとして普及。旅行会社に商品開発を促すため、国は安価なモニターツアーなどを企画実施し、市場調査をお手伝い！

◎旅行会社における「スポ旅」商品開発の促進

- ・スポーツ団体と旅行会社との座組みによる専門部門の整備
→(例)近畿日本ツーリストが「スポーツ事業部」新設
JTBも「スポーツ事業推進室」の立ち上げに向け準備中
- ・スポーツツーリズムを担う人材の育成
→この秋から全国10都市で研修会開催



◎「スポ旅」実証実験成果の着地型観光セミナー(6/6)などでの普及促進

- | | |
|--|---|
| <p>①インバウンド向けファミトリップ
プロ野球観戦×札幌日帰り観光
F1観戦×三重宿泊観光
ゴルフクリニックツアー
東京競馬場ツアー 等</p> <p>③インバウンド向け観光行動調査
世界柔道関係者・観戦者の観光行動調査
フリーペーパー情報による観光行動調査 等</p> | <p>②国内モニターツアー
三原山女子会トレッキングツアー
館山若潮マラソンアフターケアツアー
沖縄サッカークリニックツアー
高松アート&スポーツツアー
ゴルフ女子会コースデビューツアー
野球観戦と球場周辺まちめぐりツアー
駅伝強豪校トレーニング体験ツアー 等</p> |
|--|---|

◎旅博2011(9/29～10/2)などでの商品開発担当への普及啓発

スポーツ観光特設ブースでの情報発信、商品開発等の相談対応

◎旅行商品販売チャネルの拡大(観光庁から働きかけ)

スポーツ用品店での委託販売、各旅行申込サイトでのスポーツオプション欄の追加 等

【参考資料】スポーツツーリズム実証実験ダイジェスト 1

世界柔道選手権2010

- 2010年9月6日(月)～14日(火)
- 国立代々木競技場第一体育館、他



国際スポーツ大会における、選手も含めた大会関係者と、観戦者の観光消費の実情を探り大会開催の効果を確認する。

- 【調査サンプル、手法】
- 観戦者459人にアンケートを実施
 - 大会関係者189人にアンケートを実施

観戦者

全体の**72%**が観戦目的の来日

80.2%が東京のみの滞在予定

大会観戦を目的に多くの来日客があるが、広域の移動は少ない

大会関係者

国内旅行実施比率は**56.1%**

82%が都内で買物に出かけた

関係者の多くが、国内旅行や買物など、旅行消費を行っている

プロ野球観戦十日帰り観光

- 2010年9月25日(日)
- 北海道札幌(札幌ドーム、大倉山、スポーツ店、他)



多くのスポーツ観光資源のある札幌で、日本ハムファイターズの試合観戦とスポーツ観光施設を巡る日帰りツアーを催行し検証。

- 【調査サンプル、手法】
- 外国人ツアー参加者(中国/台湾/韓国/オーストラリア/ロシア)

ツアー内容

札幌ドームの満足度は**80%**

73%が案内などの言語対応を問題視

ツアーコンテンツは好評だが、言語などインフラの問題が指摘された

参加者意見

プロ野球のライブ感に**感動**(ロシア/男性)

もっと**体験できる**スポーツがあれば良い(オーストラリア/男性)

スポーツがテーマのアクティブな観光資源への期待が大きい

F1観戦十三重宿泊観光

- 2010年10月10日(日)～11日(祝)
- 鈴鹿サーキット、伊勢神宮、相違(海女小屋)、など



F1観戦に近郊の観光資源を付加する事での海外への魅力訴求と、商品化の可能性をファムトリップの中で検証。

- 【調査サンプル、手法】
- 在京旅行会社(中国、韓国、台湾)
 - F1記者(チェコ、フィンランド、中国)

旅行会社意見

課題となるのは、**券購入と言語**(韓国)

富裕層に向けた商品展開が可能(中国)

チケットや言語の問題はあるが、商品化の可能性は検討できる。

F1記者意見

伊勢神宮や海女小屋は**魅力的**(チェコ/男性)

京都などの商品があると良い(フィンランド/男性)

F1に加えて近隣観光の取材は成果ありという回答

【参考資料】スポーツツーリズム実証実験ダイジェスト 2

ゴルフ首都圏商品化

- 2010年12月7日(火)
- 成田ゴルフ場・ゼビオドーム 他



今後、期待される中国マーケットに対し、ゴルフプレイ&レッスン+スポーツギアショッピングのモニターツアーを実施し、ツアー造成の可能性を探る。

【調査サンプル、手法】

- 海外旅行会社、メディア8名ヒアリング
- 受け入れゴルフ場、スポーツショップ施設へのヒアリング

参加者

ゴルフクリニックは**中級者に可能性あり**

富裕層に絞った戦略が有効

中国のゴルフツアーの商品化には具体的な可能性あり

受入れ関係者

課題となるのは、**マナー・ルールの浸透**(ゴルフ場)

受け入れ体制は整って来ている(ゴルフ場)

今後中国からのゴルフでの来日は増加する可能性が高い

フリーペーパーによる情報発信

- 2010年11月~2011年1月
- 首都圏空港、ホテル、観光案内所、他



首都圏で期間中に開催されるスポーツコンテンツの着地型情報発信を行う事による需要と、国内スポーツの受け入れ体制構築を調査する。

【調査サンプル、手法】

- フリーペーパーにアンケートフォームを添付
- 国内での特典、受け入れ準備とヒアリング

利用者

既に、JRA、プロ野球などで利用者が出てきている。現在集計中

スポーツ団体

ほとんどの主催社が**協力可能**であった

設置箇所と割引やアンケート回収体制構築が課題

スポーツ競技によって温度感がさまざまであり、実際の誘客の期待は薄い

プロスポーツ観戦ツアー

- 2010年11月13日(土) プロ野球日韓戦
- 2010年11月27日(土) 競馬、Jリーグ、競艇など
- 東京ドーム、味の素スタジアム、東京競馬場など



日本特有のスポーツコンテンツである、プロスポーツ観戦や公営競技、スタジアムツアーなどの魅力度と商品化の可能性を検証する。

【調査サンプル、手法】

- 海外旅行会社、メディア●●名ヒアリング
- 受け入れ団体、施設へのヒアリング

参加者

VIP向けの受け入れ施設は**商品化の可能性が高い**

言語より、楽しみ方の**ルールを知ることが近道**

それぞれ、日本の新しい観光コンテンツとしての評価はあったが認知不足が課題

受入れ関係者

販売体制の構築が課題(野球・サッカー)

スケジュールの発信方法を考察(球場)

言語問題で大きいのはチケット購入までの導線。楽しみ方の発信が重要

【参考資料】スポーツツーリズム調査業務ダイジェスト 3

新規トライアスロン大会開催の調査

- 2010年11月3日(水)
- 香川県高松市(サンポート高松トライアスロン2010)



今年、初めて開催するトライアスロン競技大会の開催に際して、開催に向けての地域連携の実態や規制緩和の課題などを調査、ヒアリング。

【調査サンプル、手法】

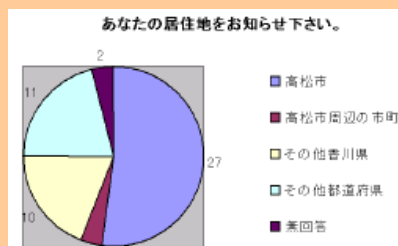
- トライアスロン大会参加者、観客合計約100名アンケート調査
- 大会事務局への事前調査、開催後のヒアリング

参加者・観客

観客の**48%**が市外からの来訪であった

周辺環境の評価が高かった

大会を行うロケーションや
ホスピタリティの重要性を実感



来場した観客52名に対する調査

受入れ関係者

大会実施に向けては道路使用や住民との合意形成が、**必要不可欠**

参加者エコツアーや前夜祭などの**大会+αのイベント**が好評だった

克服すべき課題が多く、現状で新規協議会の開催には困難が伴うものの、大会+αの要素も含めた地域振興が可能

市民参加ファンライドイベント調査

- 2010年11月28日(日)
- 福岡県福岡市(ツールドフクオカ2010)



市民参加のファンライドイベントの立ち上げと、約100名の韓国人旅行者に対するサイクリング観光の調査や、市民スポーツ大会の効果などを調査。

【調査サンプル、手法】

- 大会参加市民や、韓国からの参加者約100名にアンケートを実施
- 大会事務局への事前調査、開催後のヒアリング

参加者・観客

大会への選手・観客の**評価は非常に高く**、来年度以降の開催を熱望
観客や選手も広島や東京など**広域から宿泊で訪れていた**

地域資源と連動したサイクリングイベントは、自転車での観光という新機軸のスポーツツーリズムの可能性を感じる

受入れ関係者

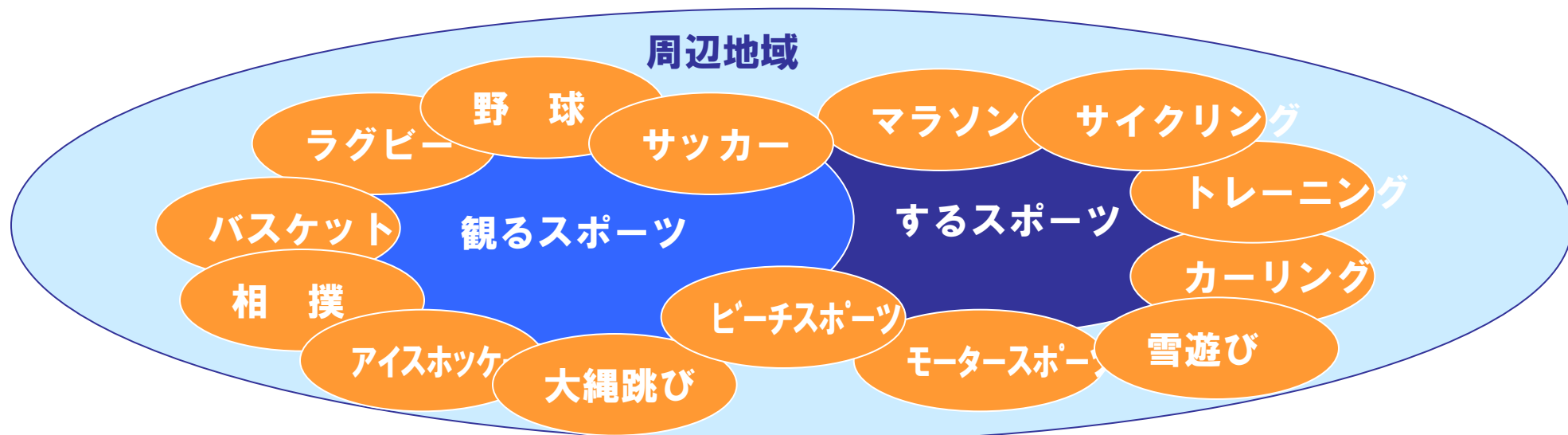
福岡青年会議所の**積極的な活動**が大会成功の原動力

地域商店やメディアの協力体制の構築など、**地域リレーション**を重視

参加した市民全体が盛り上がり成功であったが、道路許可の問題で開催地を変更するなど、規制緩和への期待は大きい

スポーツを通じた 地域の魅力再発見

スポーツの感動、地域の魅力に触れるきっかけづくり



館山若潮マラソン アフターケアツアー@南房総(1/30~31 22名) / 頑張ろうあまみ！第3回桜マラソン4日間(2/4~7 34名) / サンフレッチェ広島×FC琉球 presents『サッカークリニック in OKINAWA』バスツアー(2/6 39名) / 高松ファイブアローズ presents 高松アート&スポーツ ツアー(2/11 31名) / サイクリング×出会い×地域交流”恋カツリング”ツアー(2/19~20 30名) / 『現役プロレスラー』と一緒に親子で体力&絆作りツアー(2/19~20 40名) / 総合格闘技体験ツアー(2/25~26 20名) / 山好き女子にもおススメ！椿まつり&三原山トレッキング体験ツアー女子会 in 伊豆大島(2/26~27 16名) / 強さの秘密に迫る！駅伝強豪校のトレーニングコースを走ろう！！(2/27 9名) / 南国・石垣島の海でスポーツフィッシングを楽しもう！(3/2~6 18名) / 東京周遊スポーツミュージアムツアー(3/5 66名) / トップリーグオールスター FOR ALL チャリティーマッチ観戦と名古屋観光(3/5~6 95名) / スポーツと食で美くなる旅 sotoe tour in KYOTO(3/5~6 15名) / トライアスロンの魅力をすべての人に 2011 トライアスロン総合博覧会視察ツアー(3/5~6 69名) / ゴルフ女子会コースデビューツアー(3/7 46名) / ハイジの村でのセグウェイガイドツアー体験(3/5,6 35名) / 伊勢観光と鈴鹿サーキット 2011モータースポーツファン感謝デー見学(3/12~13 1名) / レッツ・カーリング北海道！新しい体験型スポーツと冬の北海道の楽しみ方(3/12~13 8名) / 九州新幹線全開通記念ホークス野球観戦と福岡ヤフドーム周辺Eまちめぐりツアー(3/19~20 80名) / とっとりまるごと体験ツアー(3/24~26 37名)

沖縄県のスポーツ・ツーリズム関連事業(平成23年度)

スポーツ・ツーリズム推進基盤強化事業 ※内閣府 沖縄振興のための特別調整費 予算:約78百万円

スポーツ・ツーリズムを生み出す動きを安定的・継続的なものとし、持続的な取組を生み出す基盤を形成することにより、スポーツへの参加・観戦等を目的とする新たな観光需要が喚起され、観光客の増加・多様化と観光業をはじめとする県内産業の活性化に期待。

1. コンテンツ強化

スポーツの観光資源としての活用を推進するため、昨年度実施した実証事業の内期待値が高い事業のブラッシュアップと定着化を支援する ○Jリーグ・韓国Kリーグ・中国スーパーリーグ等のサッカーキャンプの誘致

2. 情報発信強化

スポーツツーリズムの認知度と旅行者の利便性の向上を目的に事業を行いその効果等を検証する
○戦略的な情報発信・メディア活用方法を調査・検討 ○記者招聘、記事掲載による情報発信



スポーツ・ツーリズム戦略推進事業 ※内閣府 地域活性化交付金(きめ細かな交付金) 予算:約92百万円

沖縄ならではのスポーツ資源、豊かな自然・歴史文化を活用し、スポーツを通じて沖縄の魅力を伝え、国内外からの観光客の誘客に資する事業を行う。新たな魅力発見、滞在動機となることでオフ期の集客、経済効果を期待。あわせて沖縄の魅力を情報発信。

○ビーチイベント	第1回マリンカップin沖縄	平成23年10月28日～30日
○バスケットボールイベント	プロバスケットボールチームをコンテンツとするスポーツブランドツーリズム	平成23年11月～平成24年3月、12月9日～12日会議、平成24年3月主催試合商品化
○サイクリングイベント	石垣島アースライド2011	平成23年11月19日～11月20日
○ゴルフキャンプ	沖縄・韓国ジュニア交流キャンプ	平成24年2月中旬～2週間
○サイクリングイベント	美ら海オキナワCenturyRun2012	平成24年1月14日～15日
○ウォーキング・サイクリングイベント	ECOスピリットライド&ウォークin南城市	平成24年3月24日～25日

予定

空手道会館(仮称)整備調査事業 ※県単予算:約10百万円

○空手道会館のあり方の調査・検討

Jリーグ規格スタジアム整備基礎調査事業 ※県単予算:約10百万円

○Jリーグ規格スタジアム等のあり方の調査・検討